

湯沢砂防事務所

平成 24 年度補正予算の概要

<平成 24 年度補正予算のポイント>

- 平成 23 年新潟・福島豪雨で土砂災害が発生した箇所において、登川、三国川での直轄砂防事業を引き続き計画的に推進し、再度災害防止を図ります。
- 中越地震で大きな被害を受けた芋川については、直轄砂防事業と直轄地すべり対策事業を引き続き計画的に推進し、再度災害防止を図ります。
- 平成 23 年度台風 12 号で土砂災害が発生した箇所において、清津川三俣地区等での直轄砂防事業を推進し、再度災害防止を図ります。

北 陸 地 方 整 備 局
湯 沢 砂 防 事 務 所

1 平成24年度 補正予算を含めた事業費総括表

(単位:百万円)

事業区分	平成24年度 当初 (A)	平成24年度 補正 (B)	平成24年度 補正計 (C) =(A)+(B)	当初予算比 (C/A)
直轄砂防事業費	3,998	2,921	6,919	1.73
直轄砂防事業	3,023	2,511	5,534	1.83
直轄火山砂防事業	975	410	1,385	1.42
直轄地すべり対策事業費	917	0	917	1.00
事業費合計	4,915	2,921	7,836	1.59

※業務取扱費は含みません。

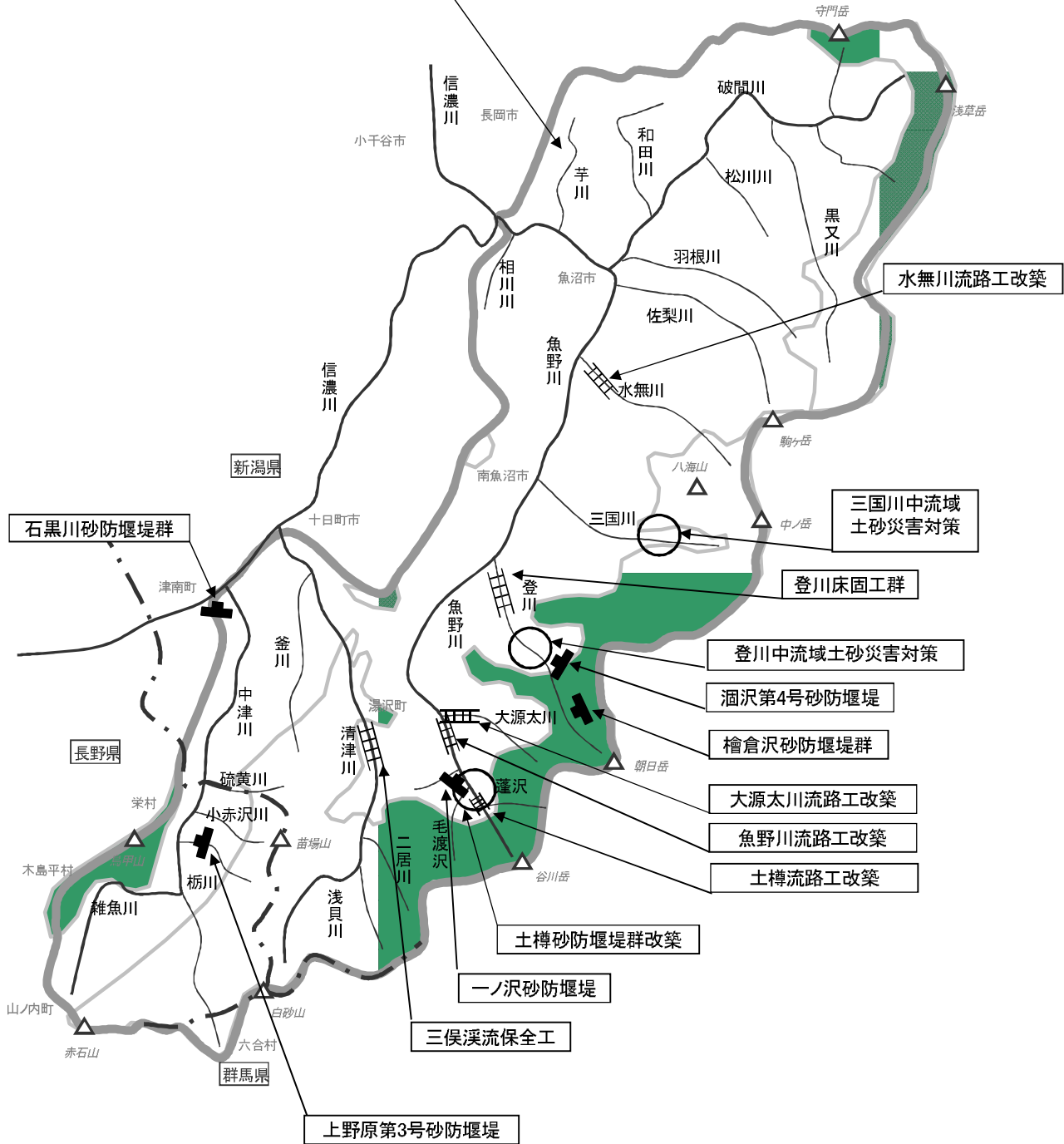
2 平成24年度 補正予算による実施箇所

<砂防事業>

河川名	溪流名	市町村名	事業箇所名	計画概要	備考
魚野川	アシ沢	長岡市	南平アシ沢砂防堰堤	砂防堰堤工	
	西願寺川		西願寺川上流砂防堰堤	砂防堰堤工	
	芋川沢	魚沼市、小千谷市	芋川沢第1号砂防堰堤	砂防堰堤工	
	水無川	南魚沼市	水無川流路工改築	流路工改築	
	三国川		三国川中流域土砂災害対策	砂防堰堤工	
	登川		登川床固工群	深掘対策工	
			登川中流域土砂災害対策	土砂災害対策工	
	柄沢川		柄沢第4号砂防堰堤	砂防堰堤工	
	檜倉沢	湯沢町	檜倉沢砂防堰堤群	砂防堰堤工	
	一ノ沢		一ノ沢砂防堰堤	砂防堰堤工	
			土樽流路工改築	流路工改築	
			土樽砂防堰堤群改築	深掘対策工	
			大源太川流路工改築	流路工改築	
清津川		魚野川流路工改築	深掘対策工		
		三俣溪流保全工	護岸工		
中津川	石黒川	津南町	石黒川砂防堰堤群	砂防堰堤工	
	栃川	栄村	上野原第3号砂防堰堤	砂防堰堤工	

平成24年度 補正予算実施予定箇所位置図

南平アシ沢砂防堰堤
西願寺川上流砂防堰堤
芋川沢第1号砂防堰堤



信濃川下流水系 西願寺川上流砂防堰堤の推進

さいがんにがわじょうりゅう
 にいがた ながおか やまこし ひがしたけざわ
 新潟県長岡市山古志東竹沢地先

事業の概要

新潟県中越地震により、芋川流域では多数の河道閉塞・斜面崩壊が発生しました。震災直後より開始した災害関連緊急事業等により、流域内で11地区の堰堤等を施工し、一定の効果を発現していますが、流域内では荒廃が進行しており、まだまだ多量の不安定土砂が河床に堆積している状況にあります。

整備効果

堰堤上流に天然ダム及び崩壊地があり、これら不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害を防止します。

事業着手

平成19年

平成24年度補正予算の事業内容

早期完成に向けて、引き続き砂防堰堤の整備を推進します。



堰堤計画地点上流の崩壊地



しなの がわ かりゆう

さぐりがわちゆうりゆういきどしやさいがいたいさく

信濃川下流水系直轄砂防事業（三国川中流域土砂災害対策）の推進

にいがた みなみうおぬま

新潟県南魚沼市

事業の概要

三国川中流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨により土石流が発生し、下流一帯が土石流による災害に見舞われました。特に、堆積土砂によって流向が変わり、高平沢に土石流が集中したため、下流の土沢地区の家屋が甚大な被害を受けました。

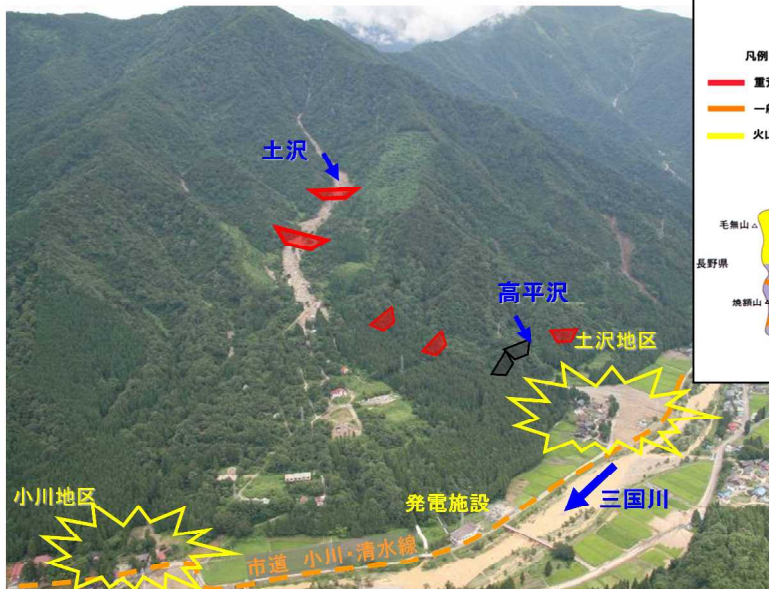
本流域内には、依然大量の不安定な土石流堆積物が堆積しており、再度豪雨に見舞われた場合に、土石流が発生する可能性が高く、直下流に発電施設も存在することから、再度災害が発生した場合、その影響がより広域に及ぶことが懸念されるため、早急に砂防堰堤を整備する必要があります。

整備効果

砂防堰堤群の整備により、再度災害を防止し、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成24年度補正予算の事業内容

砂防堰堤群の整備を推進します。



全景



凡例
: 保全対象



不安定土砂が堆積する堰堤計画位置（土沢）



被災した溪流直下流の家屋

信濃川下流水系 のほりかわちゅうりゅういき 登川中流域土砂災害対策の推進

にいがた みなみうおぬま しみず 新潟県南魚沼市清水地先

事業の概要

登川では、平成23年7月新潟・福島豪雨において大量の土砂が流出し、流域の至る所で被害が発生しました。

流域内には、現在も多くの崩壊地が存在し、大量の不安定土砂が堆積していることから、今後の出水時にはこの不安定土砂が移動する恐れがあります。

しかしながら、既設の砂防堰堤には現在大量の土砂が堆積しており、計画している施設効果の発揮が難しい状況となっています。

これらのことから、異常堆砂をしている砂防堰堤において緊急的に除石を行うことにより、当面の出水から下流域を保全します。

整備効果

下流への土砂流出の抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する下流域の土砂氾濫から、南魚沼市（約62千人）を保全します。

事業着手

平成24年（補正）

平成24年度補正予算の事業内容

既設堰堤の緊急除石を行い、上流からの土砂を補足しま



土砂流出により国道291号が通行止めになった場合、清水地区は完全に孤立する。

信濃川下流水系 ^{みつまた} 三俣溪流保全工の推進

^{にいがた} ^{みなみうおぬま} ^{ゆざわまち} ^{みつまた} 新潟県南魚沼郡湯沢町三俣地先

事業の概要

湯沢町は、首都圏からの観光客を中心に年間約430万人が訪れるリゾート地であり、JR上越線・関越自動車道・国道17号等が重要なアクセス手段となっています。

平成10年9月に発生した土砂災害では、湯沢町内の魚野川においてJR上越線等の重要交通網や一部のリゾートマンションが被災するなどしました。

清津川沿いに立地する三俣地区及び国道17号（三国街道）等を保全するための三俣溪流保全工（流路延長約3.4km）の調査・設計を進め、重要交通網の保全と地域振興に寄与する砂防事業を推進していきます。

整備効果

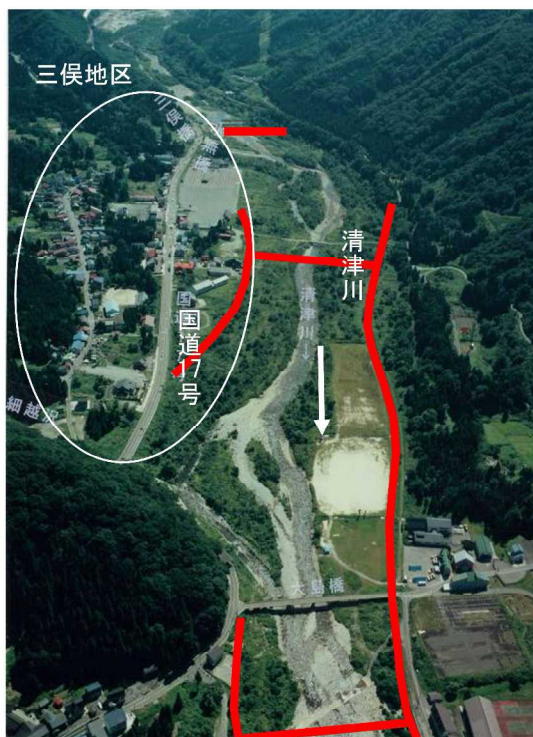
不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する流域内、下流域の土砂氾濫から、湯沢町三俣地区や新潟県と関東地方を結ぶ重要交通網である国道17号、下流の十日町市を保全します。

事業着手

平成19年

平成24年度補正予算の事業内容

溪流保全工整備として護岸整備を推進し、溪流保全工の工事を促進します。



清津川沿いに立地する三俣地区や国道17号等を保全するために必要な調査・設計を進めるとともに、溪流保全工の工事着手に向け、用地取得を進めます。



平成23年9月 台風12号出水により町道の橋梁が流出

信濃川下流水系 石黒川砂防堰堤群の推進

いしぐろがわ
 にいがた なかうおぬま つなんまち あしがさき
 新潟県中魚沼郡津南町芦ヶ崎地先

事業の概要

石黒川は、河岸段丘の段丘崖を流下する急勾配の溪流であり、芦ヶ崎地区や地域の重要交通網である国道117号線を保全対象とする土石流危険溪流となっています。溪流内には多量の不安定土砂が堆積していますが、現在砂防施設が整備されていないことから、土石流が発生した場合には、甚大な被害が予想されます。中津川流域では、昭和56年8月の台風15号で甚大な被害が発生しており、石黒川においても早急に砂防堰堤の整備が必要となっています。

整備効果

土石流の直接被害から保全対象（28戸・88人）及び地域の重要交通網である国道117号を守るとともに、下流への土砂流出を抑制します。

事業着手

平成22年

平成24年度補正予算の事業内容

石黒川第1号砂防堰堤の本堰堤を完成させ、上流からの土石流を補足します。

位置図

石黒川砂防堰堤群

凡例

- 重荒廃地
- 一般荒廃地
- 火山地域

信濃川、魚野川、清津川、中津川、石黒川

守門岳、八海山、三ツ小屋山、朝日岳、下津川山、巻機山、七ツ小屋山、朝日岳、谷川岳、仙ノ倉山、三國山、白砂山、佐武渡山、鳥甲山、苗場山、手無山、長野県、群馬県、<浅間・白根>

第3号砂防堰堤計画地点

第2号砂防堰堤計画地点

渓岸浸食状況

第1号砂防堰堤計画地点

土石流基準点より下流の保全対象

信濃川下流水系 ^{うえのほら} 上野原第3号砂防堰堤の完成

^{ながの} ^{しもみのち} ^{さかえむら} ^{わやま} 長野県下水内郡栄村和山地先

事業の概要

中津川の右支川栃川は、苗場山の火山噴出物による非常に脆弱な地質で構成されているため、絶えず崩壊が繰り返され、多量の土砂を中津川に押し出しています。

溪流内には崩壊地も多数存在していると同時に、不安定土砂が多量に堆積しています。

中津川流域では、昭和56年8月の台風15号で甚大な被害が発生しており、栃川からも多量の土砂が中津川へ流出しました。

そのため、砂防堰堤の設置により、上流からの土砂流出を調節し、下流域の屋敷地区や重要交通網である国道405号線の保全を図ります。

整備効果

不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の屋敷地区を保全します。併せて、地域の重要交通網で唯一の生活道路でもある国道405号線を保全します。（秋山郷の観光客 年間約6万人）

事業着手

平成20年

平成24年度補正予算の事業内容

上野原第3号砂防堰堤を完成させます。



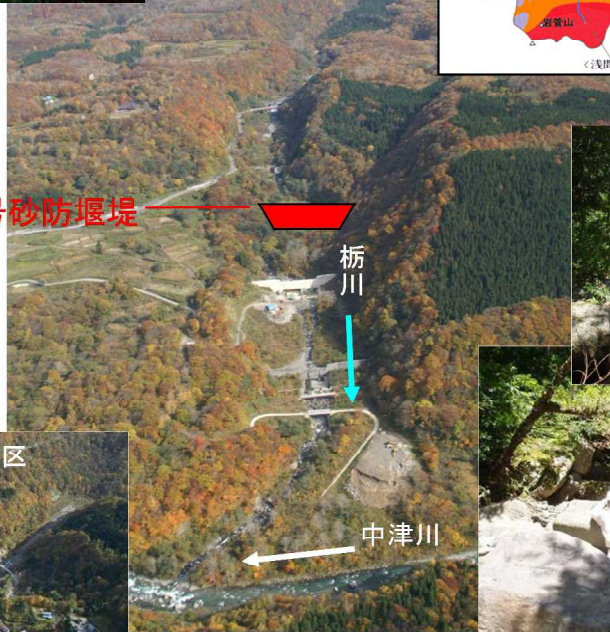
上流部崩壊地



苗場火山



上野原第3号砂防堰堤



栃川

中津川



巨礫の堆積



下流域の屋敷地区

中津川